

# 取扱説明書

## 薬剤灌水装置 RD-100

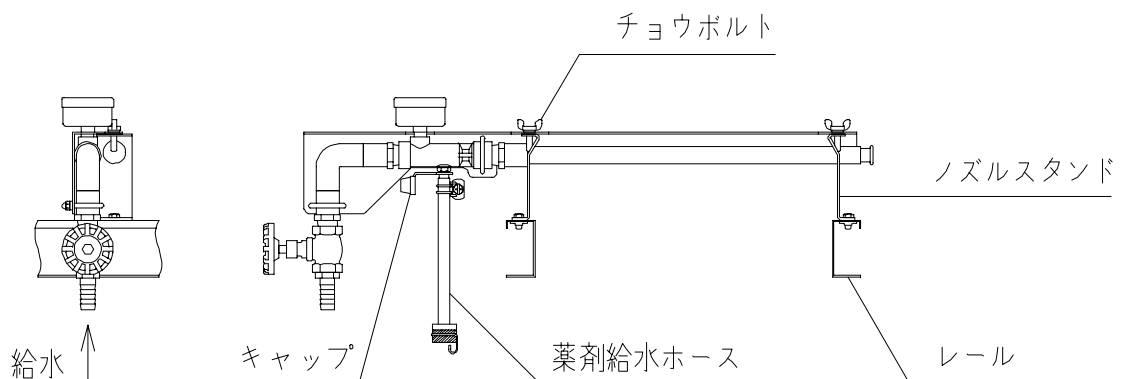
この度は、薬剤散布用灌水装置をお買い上げいただき誠に有り難うございます。  
本装置は「リゾープス菌」による苗立枯病などの発生防止に使用するもので灌水と同時に薬剤散布が出来るようになっています。  
本説明書を良くお読み頂き末長くご愛用下さい。

### 1. 仕様

型 式	RD - 100	
機体寸法	全 長	640 mm
	全 幅	60 mm
	全 高	230 mm
重 量	1.3 kg	
灌 水 量	0.8 ~ 1.7 /箱	
適 用 型 式	THK - 1005 (100箱/時)	

### 2. 組立要領

本機への組付けは図の様にノズルスタンドに付いているチョウボルトにて固定して下さい。



### 3. ダコニール、ダコレート、タチガレン消毒液(原液)の作り方

薬液消毒の防除基準は、地域により異なりますので農業改良普及所の指導を受けて下さい。一般には500倍～1000倍液を1箱当たり500cc散布するようになっていますので表を参考に吸込み部の希釈倍率を決めて下さい。

(1) 灌水量及び薬剤吸込量

圧力計目盛 MPa		0.02	0.03	0.04	0.06	0.08	0.1
灌水量 / 箱	真水灌水	720	870	1000	1230	1430	1590
	薬剤灌水	760	940	1100	1350	1560	1740
薬剤吸込量 / 箱		65	95	120	150	180	205
薬剤散布倍率	500倍	154	105	83	67	56	49
	800倍	96	66	52	42	35	30
	1000倍	77	53	42	33	28	24
水10 当りの薬剤量(g)を示す。							

(2) 消毒液の作り方(ダコニール、ダコレート)

(例) 1箱当たりの適正灌水量が1100 で、800倍のダコニール消毒液を散布する場合

バルブで水圧を0.04 MPa にセットします。

1箱当りの薬剤吸込量は約120 です。800倍で散布する場合、表を参照して水10 当り薬剤52gの割合で調合して下さい。

消毒液の必要量は、苗箱枚数 薬剤吸込量です。100箱育苗する場合

$$100 \text{箱} \times 120 = 12000 = 12$$

12 消毒液が必要になります。

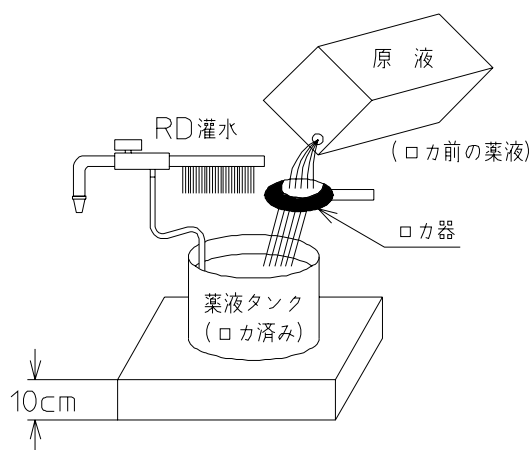
$$\begin{aligned} \text{必要消毒液量( )} \\ \text{必要薬剤量} &= \frac{\text{必要消毒液量( )}}{10} \times 10 \text{ 当りの薬剤量(g)} \\ &= \frac{12}{10} \times 52 \text{ g} = 62.4 \text{ g} \text{ の薬剤が必要になります。} \end{aligned}$$

#### 4. 運 転

- イ) 家庭用水道又は、ポンプよりホースをつないで下さい。(この時ホース内にゴミや小石が入らないよう注意して下さい。)
- ロ) 薬液タンクは、地上より10 cm 位上げて下さい。
- ハ) バルブを開き水が流れますと約50秒で薬液ホースの中の空気が無くなりますので圧力計の指針を灌水量に合わせて調節して下さい。

## 5. 取扱注意事項

- イ) ダコニール・ダコレートとタチガレンの同時使用、近接処理は薬害を生じる恐れがありますので教えてください。
- ロ) 作業中薬液が沈殿する様な時は、時々良く攪拌してください。
- ハ) ノズルが目詰まりした場合は、ゴム栓を外してノズルブラシで掃除し、水を勢いよく流してからゴム栓をしてください。
- 二) 吸込用ビニールホースの先端に付いているフィルターが詰まると薬剤吸込量が減少します。時々確認し詰まっていたら掃除してください。
- ホ) 作業終了後は、水を吸い込ませ内部を良く洗浄してから保管してください。
- ヘ) 水和剤を使用するときは、原液をロカ器に通しますと目詰まりが無く正確な散布が出来ます。
- ト) 真水灌水を行うときは、必ず薬剤吸込ノズルにキャップをしてください。
- チ) THK - 100 (90箱/時)にご使用の場合は約10% 圧力計の目盛を下げ設定し、必ず実測して灌水量を確認してから行ってください。  
尚、水10 当りの薬剤量は灌水表を参考にしてください。



## RD - 100(能力 100 箱/時を 能力 150 箱/時で使った時の灌水量)

### (1) 灌水量及び薬剤吸込量

圧力計目盛 MPa		0.04	0.06	0.08	0.1	0.12
灌水量 /箱	真水灌水	660	820	950	1060	1160
	薬剤灌水	730	900	1040	1160	1270
薬剤吸込量 /箱		80	100	120	135	148
薬剤散布 倍率	500倍	125	100	83	74	67
	800倍	78	63	52	46	42
	1000倍	63	50	42	37	34
水10 当りの薬剤量(g)を示す。						

### (2) 消毒液の作り方(ダコニール、ダコレート)

(例) 1箱当たりの適正灌水量が1040 で、800倍のダコニール消毒液を散布する場合

バルブで水圧を0.08 MPa にセットします。

1箱当りの薬剤吸込量は約120 です。800倍で散布する場合、表を参照して水10 当り薬剤52gの割合で調合して下さい。

消毒液の必要量は、苗箱枚数 薬剤吸込量です。100箱育苗する場合

$$100 \text{箱} \times 120 = 12000 = 12$$

12 消毒液が必要になります。

$$\begin{aligned} \text{必要薬剤量} &= \frac{\text{必要消毒液量( )}}{10} \times 10 \text{ 当りの薬剤量(g)} \\ &= \frac{12}{10} \times 52 \text{ g} = 62.4 \text{ g} \text{ の薬剤が必要になります。} \end{aligned}$$